

令和5年度(2023年度)モニタリングシート

下柚木 学童保育所

施設名		下柚木 学童保育所												
		6月			9月			12月			所管課 期末評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	
視点	評価項目	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)				
施設の管理・運営を安定して行っているか	定量的	職員配置(常勤数、非常勤数、加配数)・放課後児童支援員	B	出席児童数に見合った職員配置であるか。また、放課後児童支援員は事業計画どおり配置されているか【日報】	B	配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。	B	適正に配置されている。	B	適正に配置されている。				
	定性的	月報(学童保育状況報告書)・日報(育成日記兼業務記録)を作成しているか	B	月報、日報は適切に作成している。また、法人独自のミーティングノートや職員同士で情報を共有する連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、子ども達の詳細の状況を記録することで、全職員、全学童で情報を共有し保育につなげる取組みを行っている。	B	所長確認後、主査、課長が確認している	B	所長確認後、主査、課長が確認している						
		団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	B	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	B	適正かつ明確化が図られている。	B	問題なし	B	問題なし				
		収支計画が適正であること	B	給与規程・賞金台帳・事業計画書(収支計画)・事業報告書	B	適正に執行されている。	B	問題なし	B	問題なし				
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	B	児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか【研修件名・内容】	B	応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修、法人全体研修など計画的に実施している。また児童虐待防止研修などを実施している。	B	入職者研修(入職時新人研修)・虐待防止研修(虐待を未然に防ぐための研修)・学童保育所指導員倫理規定読み合わせ)・集合研修(あそび・工作)	B	入職者研修(入職時新人研修)・応急救護研修・集合研修(工作)・地域子育て支援研修(体罰等によらない子育て)・カスタマーハラスメント研修へ参加				
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	定量的	施設の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか【事業計画書・日報・ヒアリング等】	B	安定かつ継続的な職員配置がなされている。	B	問題なし	B	問題なし	B	問題なし				
	定性的	事業者の経営状況が健全な状態であるか【確認資料例:財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B	問題なし	B	問題なし	B	問題なし				
		業務の一括委託が行われていないか【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	協定書で定める範囲内で非常通報装置等、業務の一括委託が行われている。	B	問題なし	B	問題なし	B	問題なし				
		入退所等関係書類が滞りなく処理されているか	B	適切に処理されている。	B	受け取り後すぐに処理をし、交換便にて市へ提出重要書類の授受には受領書を発行	B	受け取り後すぐに処理をし、交換便にて市へ提出重要書類の授受には受領書を発行						
		利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B	開所日数、開所時間は守られているか【日報、月報・事業報告書】	B	開所日数、開所時間は守られている。	B	問題なし	B	問題なし				
施設の公共性、公平性、公正性が図られているか	定性的	文書の管理・保存が適切に行われているか【ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B	ファイル基準表に則り適切に管理保存がされている。	B	文書保存年限表に基づき、適切に保管、管理	B	文書保存年限表に基づき、適切に保管、管理						
	定性的	設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか【事業報告書・実地調査】	B	職員による日常清掃をはじめ各種機器の保守点検が行われている。	B	問題なし	B	問題なし						
		備品の管理が適切に行われているか【備品台帳・実地調査】	B	適切に管理されている。	B	備品シールにて通番管理、備品管理簿に記録	B	備品シールにて通番管理、備品管理簿に記録						
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者の満足度3.0【利用者満足度調査】												
	定性的	放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか	B	児童の情報共有や安全対策を双方で連携・協力して行い、放課後子ども教室開催時には毎日参加している。また、一緒に活動できる行事を検討中である。	B	放課後子ども教室推進委員として、連携を図っている	B	放課後子ども教室推進委員として、連携を図っている						
		利用者からの苦情処理の体制がとれていること	B	苦情解決の体制(解決責任者の設置・受付担当者の設置)を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	玄関に苦情受付担当者を掲示し、迅速に対応終了後は苦情受付書を作成し保管相談は迎え時や電話にて適切に対応	B	玄関に苦情受付担当者を掲示し、迅速に対応終了後は苦情受付書を作成し保管相談は迎え時や電話にて適切に対応						
		利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	B	保護者(会)とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか【おたより、連絡帳】	B	保護者会、おたよりやアプリを使い、保護者へ活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組みされている。	B	お迎え時に保護者と情報交換し、職員間で共有している月のおたよりにて活動内容を周知している	B	お迎え時に保護者と情報交換し、職員間で共有している月のおたよりにて活動内容を周知している				
		学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか	B	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	B	学校外施設ではあるが、学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。児童館行事や地域の行事の参加を現在準備中である。	A	学校外施設ではあるが、学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて関係機関との連携を図っている。青少年対策協議会委員会の一斉クリーン活動への参加やボランティアの方とともに学童施設周辺の環境整備活動を行った地域との連携が図られている。	B	学校外施設ではあるが、学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて関係機関との連携を図っている。青少年対策協議会委員会の一斉クリーン活動への参加やボランティアの方とともに学童施設周辺の環境整備活動を行った地域との連携が図られている。				
資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	定性的	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム(H-EMS:ヒームス)」に基づき、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等】	B	節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した取り組みがなされている。	B	リサイクルや再利用を心がけ、ゴミを減らすよう努めた	B	リサイクルや再利用を心がけ、ゴミを減らすよう努めた月一度環境整備日を設け、近隣のゴミ拾いを行っている						
	定量的	年間行事が事業計画どおり実施されているか【行事計画書、行事参加者名簿】	B	計画どおり実施されている。	B	問題なし	A	計画どおり実施したものに加え、保護者からの要望も踏まえ、レトルト屋敷の回数を拡大するなどの取り組みがなされている。	B	問題なし				
		防災訓練等(地震、火災、不審者、交通ルール等)は事業計画どおり実施されているか	B	火災を想定した避難訓練、防災教育など計画的に実施されている。	B	月1回実施している	B	月1回実施している						
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	B	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	個人情報取扱いにおけるマニュアルを整備し、施錠付きの書庫で保管するなど必要な措置が講じられている。	B	個人情報関係書類は鍵のかかる書庫に保管している	B	個人情報関係書類は鍵のかかる書庫に保管している				
	定性的	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【保険証券】												
		緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制がとれていること	B	事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順(マニュアル)等を明確にし、体制が整えられているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	万が一の事故や災害に備え、危機管理マニュアルを整備、職員教育に努めている	B	危機管理マニュアルを整備、職員教育に努めている						
定性的	事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生原因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	事故案件や事故事例を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合いを行っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時に職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。	B	全体で安全対策委員会を組織し、ヒヤリハットの情報収集と周知職員間で共有している	B	全体で安全対策委員会を組織し、ヒヤリハットの情報収集と周知職員間で共有している							

期末総合評価

所管課コメント